

江戸の

怪談

怪談話や不思議な話は、いつの時代も語り継がれてきたものです。特に江戸時代の人々はこのような話を好んでいたようで、多くの怪談本等が出版されています。
夏の展示では、新大の資料から怪談・奇談・越後の不思議話等を紹介します。



「みこし入道」『和漢三才図会』

奇談

展示期間：2019年7月～

展示資料

- ・『和漢三才図会』(佐野文庫2/5)
- ・『頭書訓蒙図彙大成』(佐野文庫2/10)
- ・『世事百談』(佐野文庫35/172)
- ・『玄同放言』(佐野文庫35/183)
- ・『雨月物語』(佐野文庫34/110)
- ・『北越奇談』(佐野文庫52/75)
- ・『北越雪譜』(佐野文庫52/74)



企画・展示
新潟大学附属図書館資料公関係

「青山乃老狐村長藤次右衛門をあざむく」
『北越奇談』

